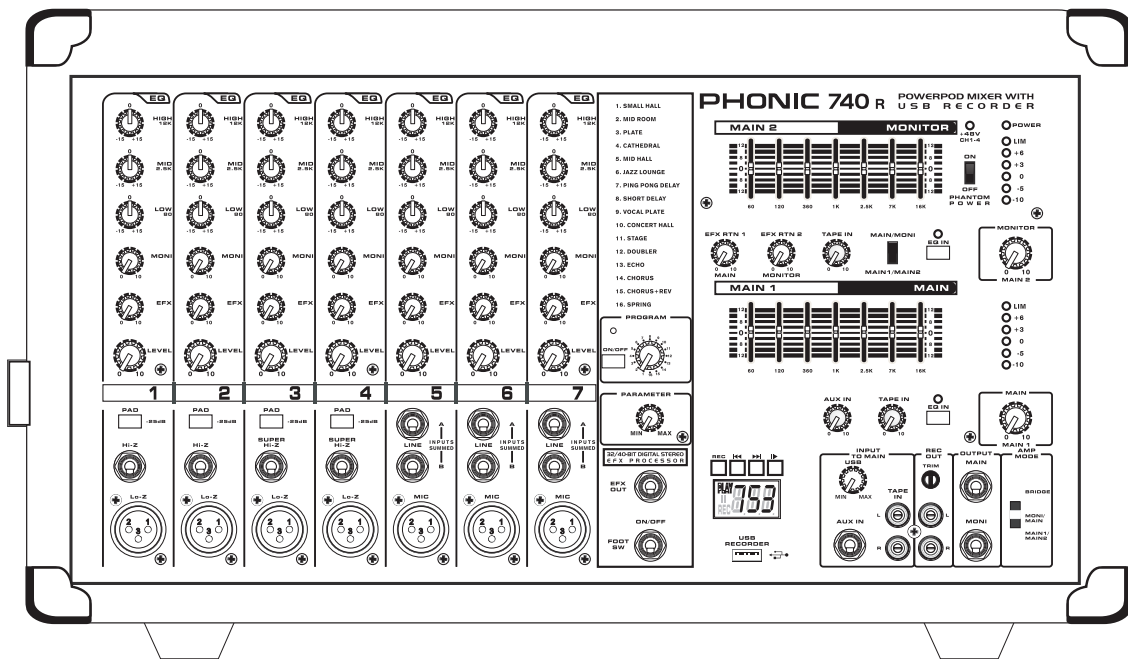


PHONIC

Powerpod 620 R Powerpod 740 R

POWERED MIXERS WITH USB RECORDER + PLAYER



Powerpod 740 R

取扱説明書

Powerpod 620 R

Powerpod 740 R

POWERED MIXERS WITH USB RECORDER + PLAYER

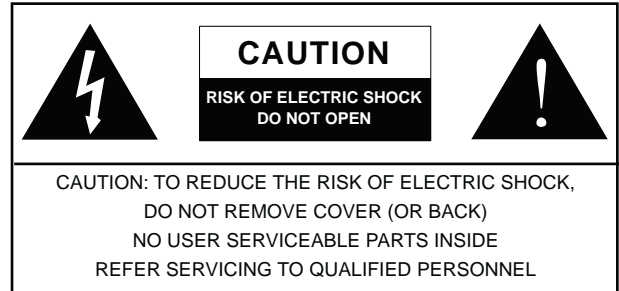
CONTENTS

基本性能	3
ご使用頂く前の準備	3
機器の接続	4
チャンネル入力	4
マスターセクション	4
リアパネル	5
コントロール・設定	6
リアパネル	6
チャンネルコントロール	6
USBレコーダー	7
マスターセクション	7
POWERPOD USBレコーダー	9
再生	9
録音	9
仕様	10
デジタルエフェクト	12
接続例	13
寸法	15
ダイヤグラム	16

安全上のご注意

当製品を安全かつ正しくお使い頂く為に、「安全上のご注意」及びこの取扱説明書を必ずお読み下さい。
お読み頂いた後は、保証書と一緒に大切に保存して下さい。

1. この取扱説明書に従ってご利用下さい。
2. 温度の高い場所(直射日光が当たる場所や暖房器具の側など)や、湿度の高い場所(水気の近くや雨中などの濡れる場所)でのご使用・保管はお止め下さい。
3. 当製品を改造・分解しないで下さい。
4. 当製品は精密機器です。強い振動や衝撃を与えると内部に異常をきたす恐れがあります。運搬、ご使用の際の振動や落下に十分ご注意下さい。
5. 長時間で使用されない時は、電源の元となる電源コードをコンセントから抜いておいて下さい。
(乾電池をご使用頂く製品は乾電池を取り外して下さい)
6. 100V 50/60Hzの定格電圧でのみご使用下さい。
7. 換気を必要とする機器は通気口を塞がない様にお気をつけ下さい。
8. 機器同士をケーブルで繋ぐ際は、全ての機器を繋ぎ終えた上で、電源を入れて下さい。また、電源を入れる前に機器のボリュームが最小値になっていることを確認して下さい。
9. 電源コード及び接続部には負荷がかからない様ご注意下さい。
10. 修理が必要な場合は、ご購入頂きました販売店様へご連絡を頂き、修理依頼をお願いします。
保証書が無い場合は保証が適応されませんので、大切に保管して下さい。



このマークは、製品の筐体の内部に電圧が流れており、感電する危険があることを示しています。



このマークは、付属の取扱説明書に大切な安全上の注意や操作方法が記載されていることを示しています。

基本性能

Powerpod620R

- ・メイン/モニター用100W+100W/4Ωアンプ
(モノラルブリッジ時200W/8Ω)
- ・直接録音/再生可能なオンボードUSBレコーダー
- ・16種類のプログラム、32/40bitデジタルステレオマルチエフェクトプロセッサ
- ・7バンドステレオグラフィックイコライザー
- ・6系統のXLR入力端子
- ・8系統の1/4"フォン入力端子
- ・2系統のハイ・インピーダンス入力
- ・各チャンネルに2バンドEQ装備
- ・チャンネル1～4にPADボタン装備
- ・各入力チャンネルにモニター/エフェクトセンド装備
- ・1系統のAUX入力端子
- ・チャンネル1～4に+48Vファンタム電源装備

Powerpod740R

- ・メイン/モニター用220W+220W/4Ωアンプ
(モノラルブリッジ時440W/8Ω)
- ・直接録音/再生可能なオンボードUSBレコーダー
- ・16種類のプログラム、32/40bitデジタルステレオマルチエフェクトプロセッサ
- ・デュアル7バンドステレオグラフィックEQ (IN/OUTスイッチ付き)
- ・7系統のXLR入力端子
- ・10系統の1/4"フォン入力端子
- ・2系統のハイ・インピーダンス入力
- ・2系統の内蔵リミッター
- ・3バンドチャンネルEQ装備
- ・チャンネル1～4にPADボタン装備
- ・各入力チャンネルにモニター/エフェクトセンド装備
- ・1系統のAUX入力端子
- ・チャンネル1～4に+48Vファンタム電源装備

ご使用頂く前の準備

1. 本機器の電源がすべてオフになっていることを確認します。
2. フェーダーとレベル調整つまみを最小値にセットします。
3. 使用する楽器や入力機器を、本機器の各入力端子に接続します。
4. 使用する出力機器を本機器の各出力端子に接続します。
注: 本機器の出力には、スピーカー以外の機器を接続しないでください。スピーカー以外の不適切な機器を接続すると、それらの機器が損傷するおそれがあります。また、出力とスピーカーの接続には必ずスピーカーケーブルをご使用下さい。
5. 付属の電源ケーブルを繋ぎ、電源を入れます。

機器の接続

チャンネル入力

1. XLR Lo-Z/MIC入力

XLR入力端子です。コンデンサーマイクをご使用頂く際は、ファンタム電源をご使用下さい。ファンタム電源を使用される場合は使われるマイクロフォンの仕様を十分に確認ください。不適切な使用をされた場合に機材が破損する恐れがあります。

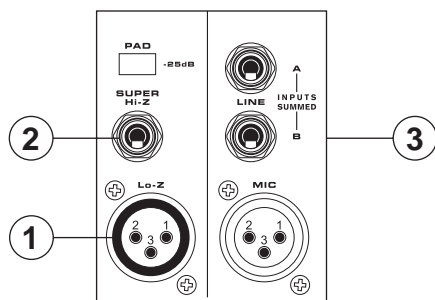
2. 1/4"Hi-Z/SUPER Hi-Z入力端子

アンバランス信号の1/4"TRS/TSフォン入力端子です。Hi-Z入力にはバランス信号用のTRSプラグを接続可能で、マイクのほか、ライン出力を持つ機器を接続することが出来ます。SUPER Hi-Z入力にはアンバランス信号用のTSプラグを接続可能で、エレキギターなどのハイインピーダンス出力を持つ機器を接続できます。

注: ライン出力を持つ機器をHi-Z入力やSUPER Hi-Z入力に接続する場合、PAD-25ボタンをオンにしてください。

3. ステレオチャンネル入力

Powerpod740Rには3系統、Powerpod620Rには2系統のステレオ入力が装備されています。XLR入力端子には標準のXLRオスコネクターを持つマイクを接続し、2つのLINE入力用1/4"TS入力端子にはキーボードなどのライン入力機器を接続します。ステレオリターン入力にモノラル機器を接続したい場合は、外部機器の1/4"フォンジャックとステレオチャンネルの片方の端子を接続し、もう片方の端子は何も接続せずにそのままにします。



マスターセクション

4. TAPE IN L/R

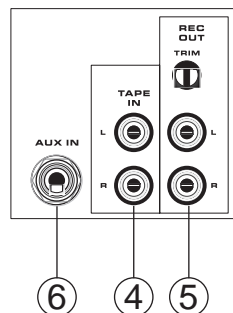
テープデッキやCDプレーヤーなどを接続するためのRCA端子です。入力信号は、TAPE INコントロールつまみでレベル調整を行います。

5. REC OUT (L/R)

各種録音機器に信号を送ることが出来るRCA端子です。REC OUTの信号は、メインミックスから直接分岐したものが送られてきます。

6. AUX IN

ミキサーや外部のエフェクトプロセッサなど、本機器と並列で動かす外部機器を接続出来ます。

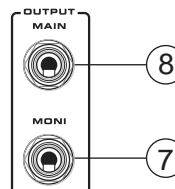


7. MONI出力

モニターセンドミキシングバスからの信号が出力される1/4"TSフォン端子です。アンプやモニター用スピーカーを接続することが出来ます。

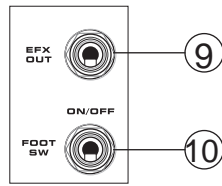
8. MAIN出力

パワーアンプ、モニター等の外部機器にメイン出力を送信する、1/4"TRSフォン端子です。



9. EFX OUT

EFXセンドミキシングバスからの信号を出力する1/4"TSフォン端子です。外部のデジタルエフェクトプロセッサ等を接続します。



10. FOOT SWジャック

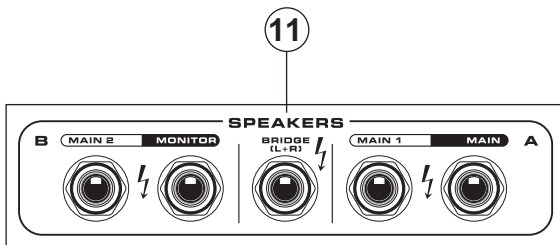
内蔵デジタルエフェクトプロセッサの状態を切り替える為のフットスイッチを接続します。Powerpod620R/740Rには、いずれもフットスイッチジャックが1つ用意されており、デジタルエフェクトをリモートでオン・オフすることが可能です。(フットスイッチは別売りです)

リアパネル

11. SPEAKERS出力

スピーカー出力は、どちらのモデルも1/4"出力端子となっております。本体フロントパネルにあるAMP MODE選択スイッチで、これらのジャックの動作を設定します。AMP MODE選択スイッチがMAIN 1/MAIN 2またはMONI/MAINに設定されている場合、MAIN 1とMAIN 2のSPEAKERS出力のジャックAに、4~8Ωのスピーカーをそれぞれ1つずつ接続出来ます。もしくは、8~16Ωのスピーカーを、MAIN 1とMAIN 2のSPEAKERS出力に2つずつ(ジャックAとジャックBに1つずつ)接続することが出来ます。ブリッジモノラルモードを選択した場合は、8~16ΩのスピーカーをBRIDGE(L+R)と書かれたSPEAKERS出力にのみ接続出来ます。スピーカー接続の詳細については、右図をご参照下さい。

注: SPEAKERS出力の信号は、パワーアンプで生成されますので、他の機器の損傷を防ぐため、パッシブスピーカー以外は接続しないでください。



スピーカー設定

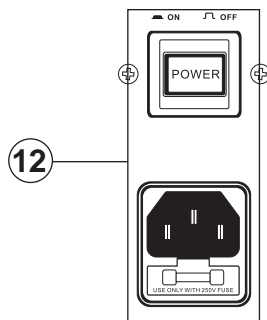
不適切な負荷のスピーカーを使うと、信号が歪みだけでなく、本製品に修復不可能な損傷を与えるおそれがあります。お使いのスピーカーの負荷が、上図の指定と一致していることを確認してください。

コントロール・設定

リアパネル

12. POWERボタン/ACコネクタ

付属の電源ケーブルを接続し、本機器の電源をON/OFFします。
(Powerpod620Rでは、ACコネクタの代わりに直出しの電源ケーブルが用意されています)



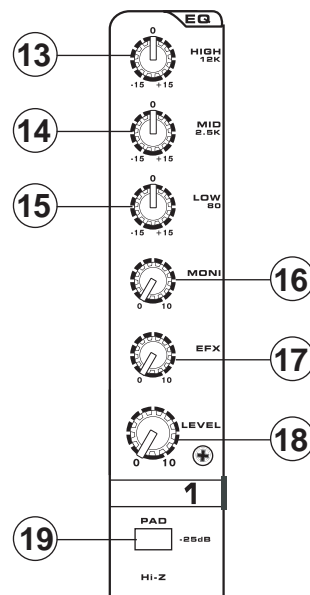
チャンネルコントロール

13. HIGHコントロール

高音域 (12kHz) を±15dBの範囲でブースト/カットします。

14. MIDコントロール (Powerpod740Rのみ)

中音域を±15dBの範囲でブースト/カットします。



15. LOWコントロール

低音域 (80Hz) を±15dBの範囲でブースト/カットします。

16. MONIレベルコントロール

モニターミキシングバスに送られる信号レベルを調整します。

17. EFXレベルコントロール

EFX OUTに送られる信号レベルを調整します。

18. チャンネルLEVELコントロール

該当するチャンネルからメインミックスに送られる信号レベルを調整します。

19. PAD-25dBボタン

PAD-25dBボタンを押すと、入力信号が25dB減衰されます。
PAD-25dBボタンは、本機器に外部機器のライン出力を接続するときのみオンにしてください。

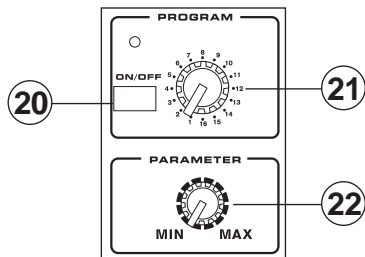
デジタルエフェクトプロセッサー

20. エフェクトON/OFFボタン (Powerpod740Rのみ)

内蔵エフェクトプロセッサーをオン・オフします。

21. PROGRAMコントロール

本機器に内蔵されている16種類の内蔵デジタルエフェクトを選択します。エフェクトの詳細については、デジタルエフェクト一覧表をご覧ください。



22. PARAMETERコントロール

選択されたエフェクトのパラメーターを調整します。各エフェクトのパラメーターについては、デジタルエフェクト一覧表をご覧ください。

USBレコーダー

23. ディスプレイ

再生中のトラック番号が表示されます。また、ディスプレイの左側に、PLAY (再生)、PAUSE (一時停止)、RECORD (録音) インジケータが用意されています。再生モード中は、現在再生中のファイル形式 (WAVまたはMP3) がディスプレイに表示されます。

24. USB端子

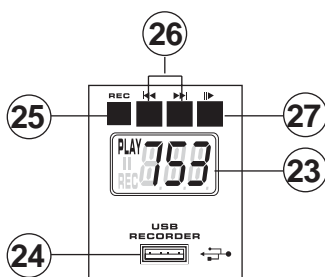
USBメモリを接続します。フラッシュドライブを接続すると、ドライブに保存されているファイルが読み込まれ、最初のトラックが一時停止状態でディスプレイに表示されます。

25. RECORDボタン

このボタンを押すと録音モードになります。録音モードになると、録音可能な次のトラック番号 (前回録音したトラックの次のトラック番号) がディスプレイに表示され、一時停止状態になります。この状態でプレイ/ポーズボタンを押すと録音が始まります。なお、録音機能に対応した適切なUSBメモリがUSB端子に挿入されているときのみ、録音を行うことができます。

26. 戻る/次へボタン

トラックが前後に1つずつスキップします。なお、これらのボタンを長押ししても、トラック内の早送り/巻き戻しは出来ませんのでご注意ください。

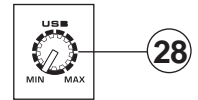


27. 再生/一時停止ボタン

表示されているトラックの録音/再生が開始 (または停止) されます。一時停止中にこのボタンを押すと、トラック内で一時停止した場所から録音/再生が再開されます。録音モード中にこのボタンを長押しすると、録音が終了します。また、再生モード中にこのボタンを押すと、USBメモリ内の最初のトラックに戻ります。

28. USB TRIMコントロール

USBレコーダーの再生機能によりメインミックスに送られる再生レベルを調整します。なお、USBメモリはFAT32ファイルシステムでフォーマットすることをお勧めします。



マスターセクション

29. EFX TO MONITORコントロール

内蔵エフェクトプロセッサーで処理されてモニターミックスに送られる信号レベルを調整します。

30. EFX TO MAINコントロール

内蔵エフェクトプロセッサーで処理された後、MAIN 1/2ミックスに送られる信号レベルを調整します。

31. AUX INコントロール

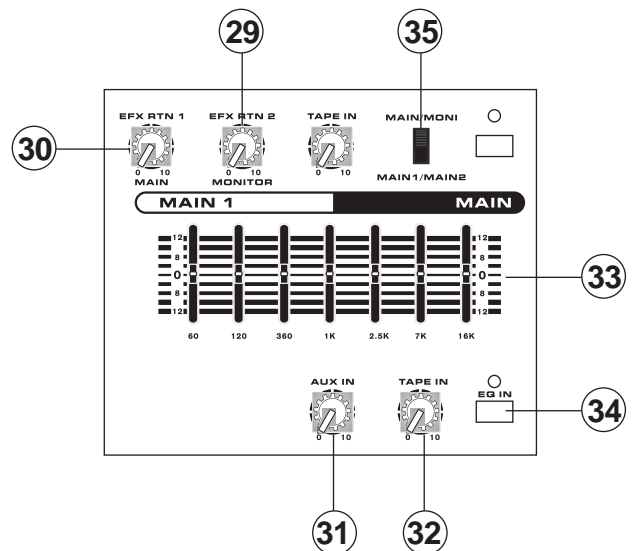
AUX IN入力からメインミックスに送られる信号レベルを調整します。

32. TAPE INコントロール

Powerpod620Rには、RCA TAPE IN入力からメインミックスに送られる信号レベルを調整するためのTAPE INつまみが用意されています。また、Powerpod740Rでは同様のつまみが2つ用意されており、そのうち1つは各イコライザーの下に配置されています。上側のつまみは、TAPE INからモニターミックスに送られる信号を調節し、下側のつまみは、TAPE INからメインミックスに送られる信号を調整します。

33. グラフィックEQ

各周波数帯域を±12dBの範囲でブースト/カットすることが出来ます。Powerpod740RにはデュアルバンドグラフィックEQが用意されており、Powerpod620RにはシングルバンドステレオグラフィックEQが用意されています。いずれも、メインおよびモニター信号を調整することができます。上段のイコライザーでモニター信号 (EQ選択スイッチがMAIN 1/MAIN 2の位置にある場合はメイン2信号) を調整し、下段のイコライザーでMAIN信号 (EQ選択スイッチがMAIN 1/MAIN 2の位置にある場合はメイン1信号) を調整します。



**34. EQ INボタン (インジケータ付き)
(Powerpod740Rのみ)**

対応するグラフィックイコライザーが作動します。イコライザーが作動中は、対応するインジケータが点灯します。

35. EQ選択スイッチ (Powerpod740Rのみ)

EQ選択スイッチ (Powerpod740Rのみ装備) を使うと、本機器のイコライザーペアの設定を切り替えることが出来ます。本スイッチが上側にセットされている場合、上段のイコライザーはモニター信号の調整に使われ、下段のイコライザーはメイン信号の調整に使われます。また、本スイッチが下側にセットされている場合、イコライザーはメイン1/2信号の調整に使われます。

36. PHANTOM POWERスイッチ (インジケータ付き)

チャンネル1~4のXLR入力にファンタム電源が供給され、これらのチャンネルでコンデンサーマイクが使えるようになります。

注: ファンタム電源はコンデンサーマイクを使うときのみオンにしてください。ファンタム電源を使用される場合は使われるマイクロフォンの仕様を十分に確認ください。不適切な使用をされた場合に機材が破損する恐れがあります。

37. AMP MODE選択スイッチ

内蔵パワーアンプからSPEAKER出力に送られる信号を切り替えることが出来ます。MONI/MAN (モニターおよびメイン信号をそれぞれ対応するスピーカー出力に送るモード)、MAIN 1/MAIN 2 (メイン信号をスピーカーに送るモード)、BRIDGE (ブリッジ出力にのみ送るモード) から選択出来ます。

38. MONITORレベルコントロール

モニター出力信号レベルを調整します。

39. MAINレベルコントロール

メインおよびスピーカー出力信号レベルを調整します。

40. レベルメーター

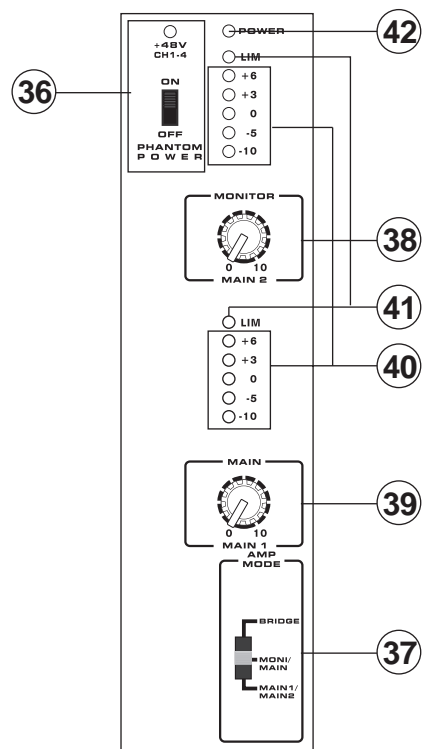
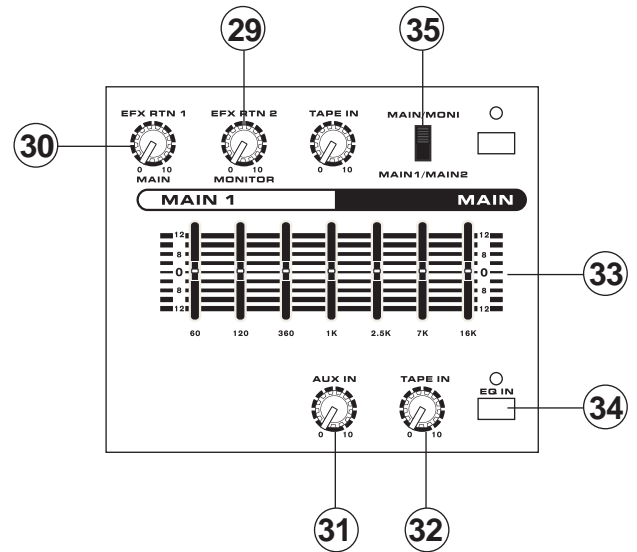
メインおよびモニター信号のレベルがリアルタイムに表示されます。出力レベルが約+4dBu (バランス出力の場合) のとき、0dBのインジケータが点灯します。最高にクリアな音声品質を保ちつつ、できるだけ十分な音量で出力するには、レベルメーターが0~+3dB (740Rは0~+6dB) の間を示すように、各レベル調整つまみを設定してください。

41. LIMインジケータ (Powerpod740Rのみ)

内蔵リミッターが作動すると点灯します。音声品質を損なうほどの大きな信号レベルが検出されると、リミッターが作動して適切なレベルに信号を減衰します。

42. POWERインジケータ

本機器の電源がオンのとき点灯します。



POWERPOD USBレコーダー

再生

1. 本機器の電源を投入すると、USBレコーダーのディスプレイに「ON」と表示されます。
2. FAT32形式で正しくフォーマットされたUSBメモリを本体に挿入します。
3. 再生されるファイル形式 (MP3またはWAV) がUSBレコーダーのディスプレイに表示されます。また、再生可能な最初のトラックが自動的に検出され、ディスプレイに「II 001」と表示されます。トラックは英数字順に並べられ、MP3ファイルが先に、WAVファイルが後に再生されます。
4. 再生/一時停止ボタンを押して、表示中のトラックを再生します。または、戻る/次へボタンを押して、トラックを前後にスキップします。
5. USBメモリにあるMP3ファイルを再生中に>>|ボタンを押すと、WAVファイルの最初のトラックにスキップします。同様に、WAVファイルを再生中に>>|ボタンを押すと、MP3ファイルの最初のトラックに戻ります。
6. このUSBレコーダーは、音声ファイルを連続再生する仕様になっています。そのため、Playボタンを1回押すと、USBメモリにあるすべてのファイルが順番に再生されます。また、ファイルをすべて再生し終わると、先頭のトラックからリピート再生されます。
7. 再生または一時停止中に再生/一時停止ボタンを2秒間長押しすると、USBメモリの先頭のトラックに戻ります。

録音

1. USBメモリを本体に挿入し、RECボタンを押して録音モードにします。
2. ディスプレイにWAV (録音時のフォーマット) と表示され、録音可能な次のトラック番号が表示されます。例えば、USBメモリにWAVファイルが12個あったとすると、ディスプレイに「II/REC 013」と表示されます。
3. 録音モードの初期状態はスタンバイ/一時停止になっています。再生/一時停止ボタンを押すと、録音が始まります。
4. 録音を一時停止するには再生/一時停止ボタンを押します。再生/一時停止ボタンを再度押すと、一時停止した場所から録音が再開されます。
5. 録音中にRECボタンを押すと、現在のトラックの録音を終了し、次のトラックの先頭に移ります。例えば、トラック13を録音中にRECボタンを押すと、トラック13へのWAVファイルの録音が終了し、ディスプレイに「II/REC 014」と表示されてトラック14の録音待ち状態となります。
6. 再生/一時停止ボタンを長押しすると、録音が終了して再生モードに戻ります。
7. 録音終了後、MP3の最初のトラックから再生モードが始まります。このとき、戻るボタンを1回押すと、最後に録音したWAVファイル (すなわち、録音を終えたばかりのWAVファイル) がアクセスされます。

注: USB TRIMつまみで再生レベルを調整できますが、これにより録音レベルは影響を受けません。録音時の音声レベルは、各入力チャンネルのレベルつまみでのみ調整可能です。

仕様

	POWERPOD 620 R	POWERPOD 740 R
パワーアンプ出力チャンネル数	2	2
リミッター	なし	2
チャンネル別8Ω出力	70	145
チャンネル別4Ω出力	100	220
8Ωブリッジモノラル出力	200	440
入出力		
Lo-Z/Hi-Zチャンネル	6/2 (470 kΩ Super Hi-Z 端子付き)	4/2 (470kΩ Super Hi-Z 端子付き)
バランスマイク/デュアルモノラルラインチャンネル	2	3
2T入力	RCA	RCA
AUXリターン	アンバランスタイプ1×1/4"TRS	アンバランスタイプ1×1/4"TRS
メインモノラル	アンバランスタイプ1×1/4"TRS	アンバランスタイプ1×1/4"TRS
モニターセンド	アンバランスタイプ1×1/4"TRS	アンバランスタイプ1×1/4"TRS
EFXセンド	アンバランスタイプ1×1/4"TRS	アンバランスタイプ1×1/4"TRS
Record Out	RCA	RCA
スピーカー出力	5×1/4"TRS	5×1/4"TRS
USBコネクター	1×USB-A	1×USB-A
マスターセクション		
モニター& AUX/EFXセンドマスター	2	2
モニター用エフェクトリターン	なし	あり
フェーダー	MONI、MAIN (回転式)	MONI、MAIN (回転式)
USBレコーダー/プレーヤー		
録音サンプリングレート	44.1 kHz	44.1 kHz
録音フォーマット	wav	wav
再生時最大ビットレート	320 kbit/s	320 kbit/s
再生フォーマット	wav, mp3	wav, mp3
ファンタム電源	+48 V	+48 V
32/40-bitエフェクトプロセッサ	16種類のプログラム	16種類のプログラム
フットスイッチ	デジタルエフェクトミュート：オン・オフ用	デジタルエフェクトミュート：オン・オフ用
内蔵グラフィックイコライザー	7バンドステレオ	7バンド×2
チャンネルイコライザー	2バンド、±15 dB	3バンド、±15 dB
LOW EQ	80Hz	80Hz
MID EQ	なし	2.5KHz
HIGH EQ	12KHz	12KHz
クロストーク (1 kHz@0 dBu、帯域幅 20 Hz ~ 20KHz、チャンネル入力・MAIN1/2出力間)		
測定チャンネルミュート、他のチャンネル@ユニティ	なし	<-64dB
適正インピーダンス負荷接続時の周波数応答	+1/-3dB	+0/-2dB

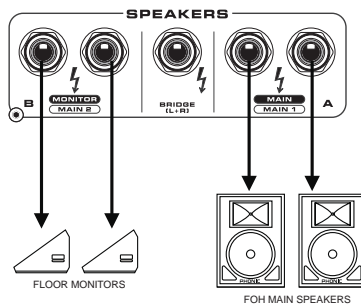
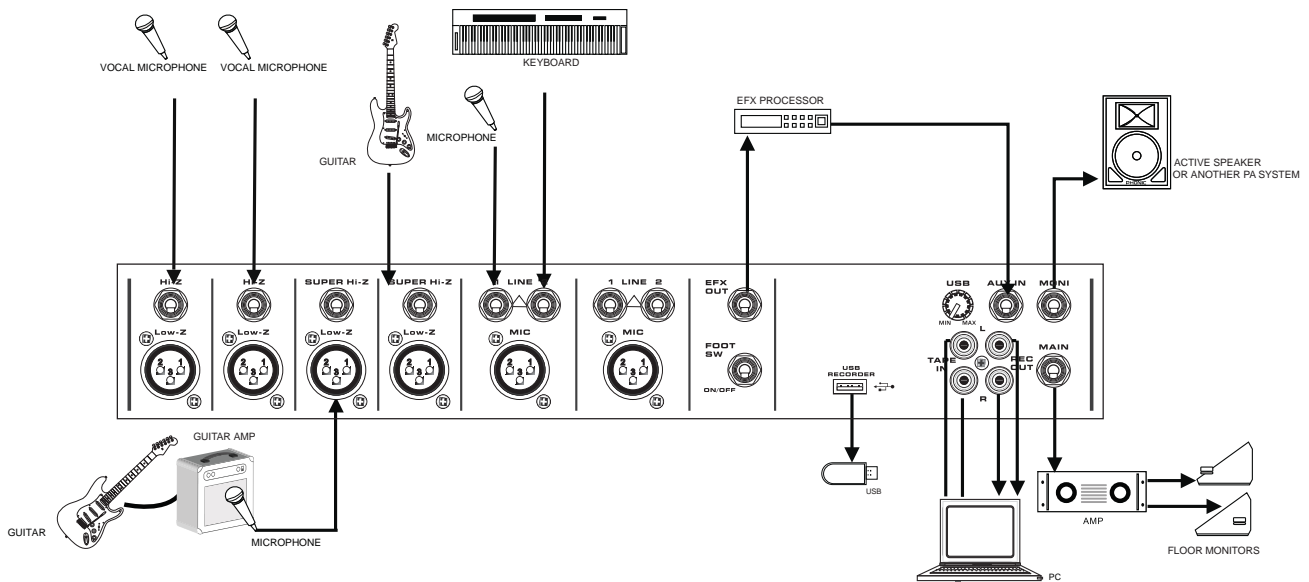
	POWERPOD 620 R	POWERPOD 740 R
ノイズ: 帯域幅20Hz~20KHz、IHF-Aウエイト、LINE入力・MAIN出力間、全チャンネルアサイン		
マスター出力、全フェーダーダウン	<-78dBu	<-78dBu
パワーアンプ出力、全フェーダーダウン	<-63dBu	<-63dBu
THD		
パワーアンプ出力、1 kHz、20 Hz~20 kHz	@50 W、4 Ω<0.12%	@100 W、4 Ω<0.5%
全出力、1 kHz @ +14 dBu、20 Hz~20 kHz、チャンネル入力	<0.06%	<0.3%
CMRR (1kHz @ -60 dBu、ゲイン最大)	80dB	80dB
サイズ (W×H×D)	440 x 265 x 275mm	471 x 265 x 275mm
重量	12kg	15.5kg

デジタルエフェクト

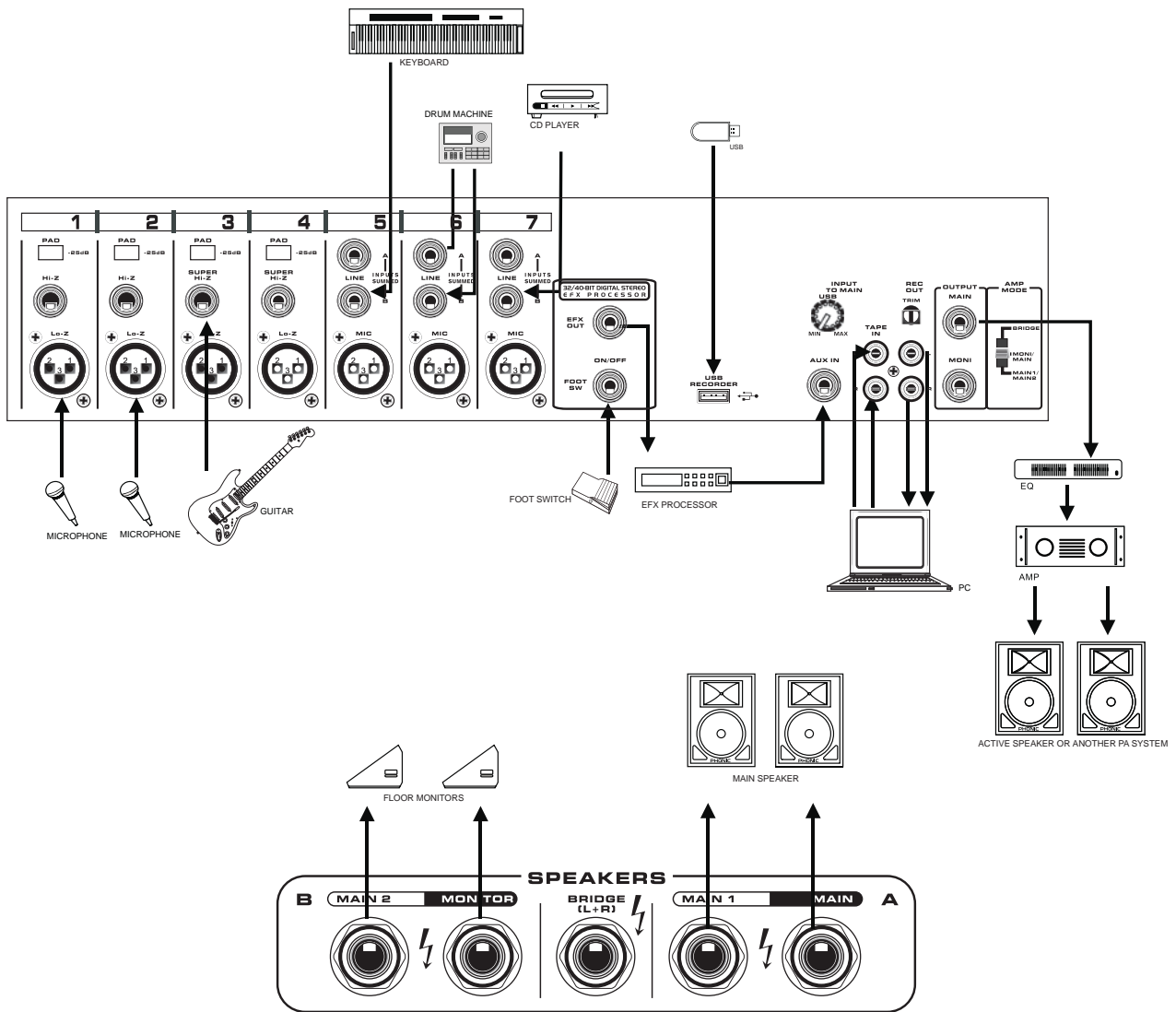
	Variable Parameter (time)	FB ratio	Density
Small Hall	0.6s-1.75s		60-80
Mid Room	0.08s-0.9s		50-80
Plate	2.2s-3.5s		60-90
Cathedral	3.3s-4.8s		80-100
Mid Hall	1.2s-2.2s		70-100
Jazz Lounge	0.4s-1.38s		50-90
Multi-Delay	0.2s-1.5s	50-90	
Short Delay	150ms-600ms	50-90	
Vocal Plate	2.8s-4s		60-100
Concert	1.75s-2.80s		70-90
Stage	0.8s- 2.2s		60-90
Doubler	60ms-180ms	60-80	
Echo	0.3s-2.8s	40-90	
Chorus			70-100
Chorus Rev			60-100
Spring	200ms-800ms	40-80	
*parameters and values are subject to change without notice			

接続例

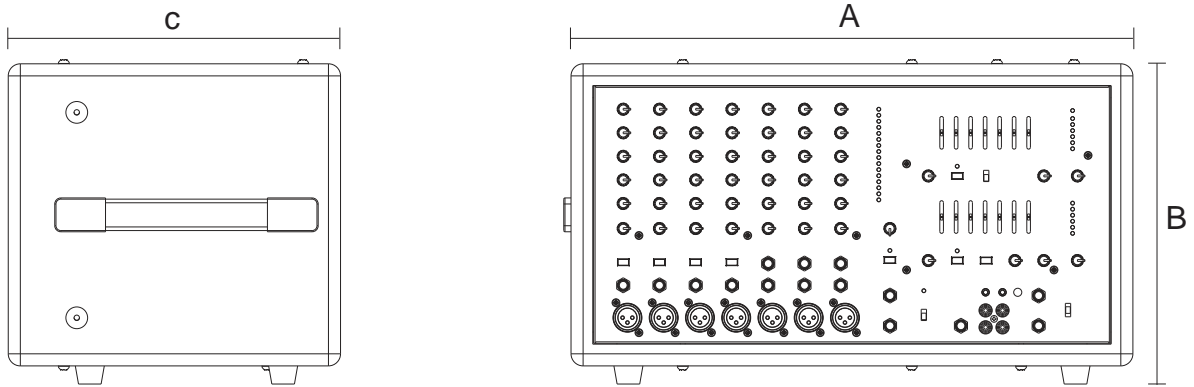
Powerpod 620 R



Powerpod 740 R



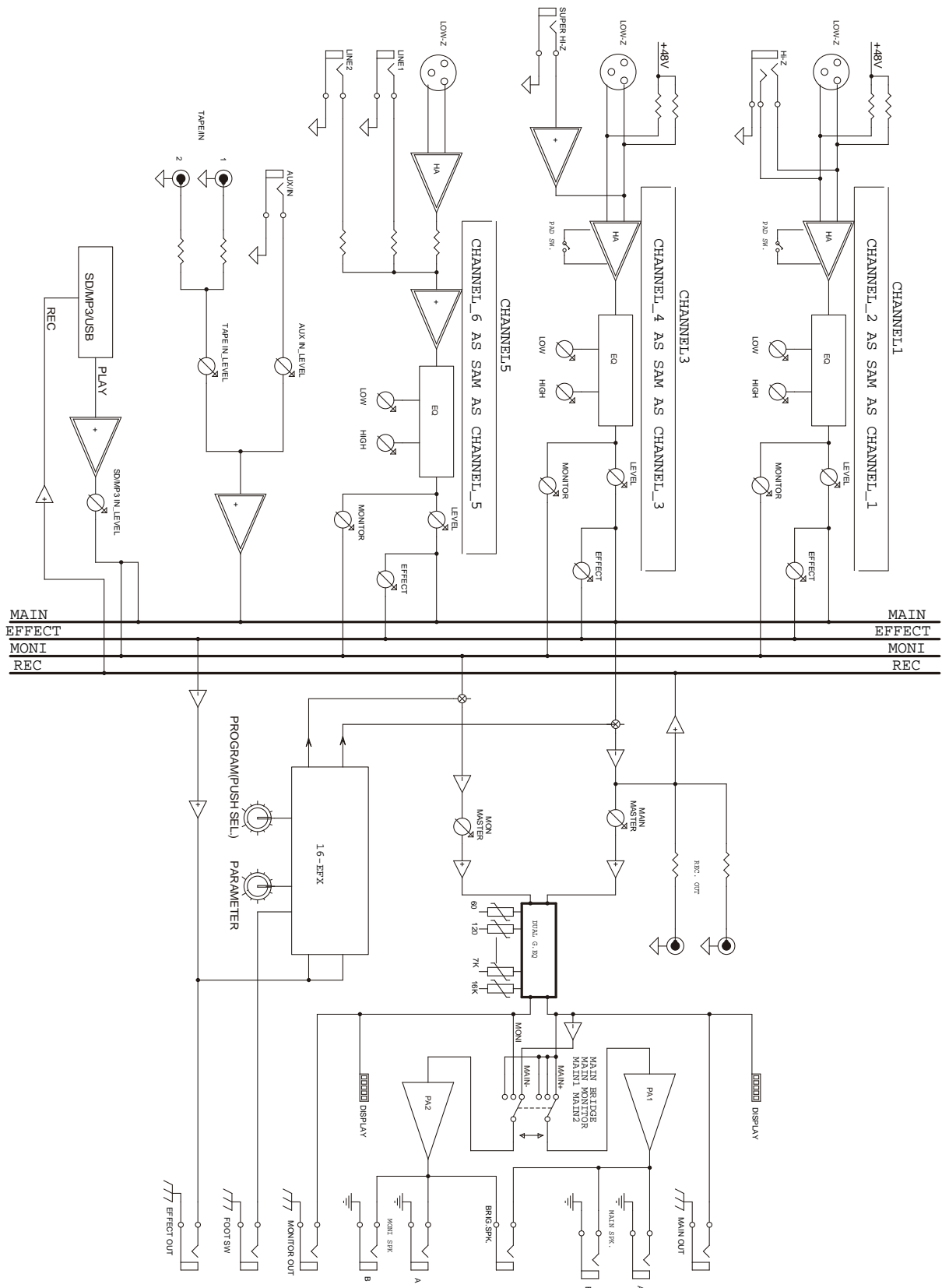
寸法



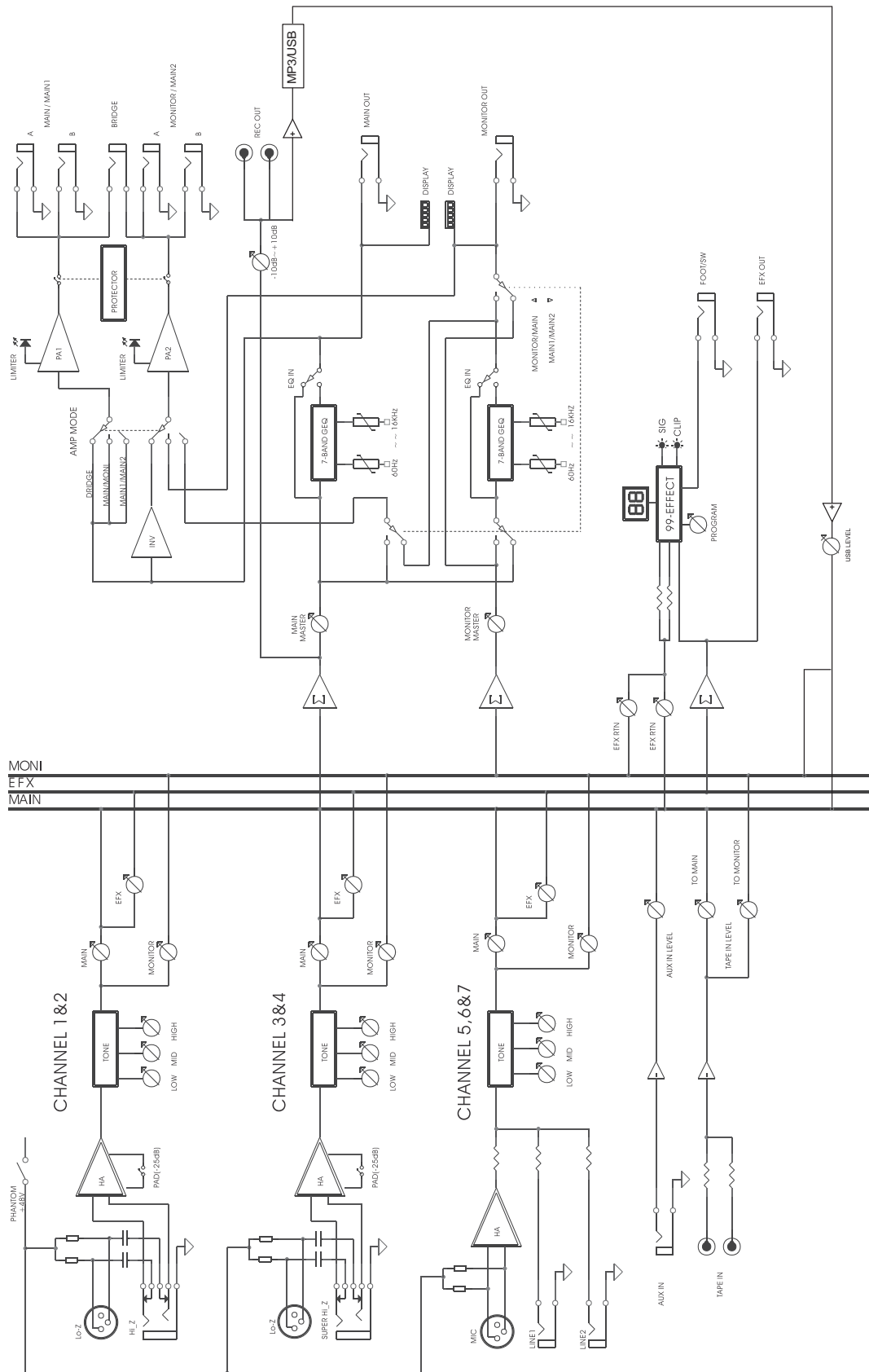
	Powerpod 620 R	Powerpod 740 R
A	440 mm	471 mm
B	265 mm	265 mm
C	275 mm	275 mm

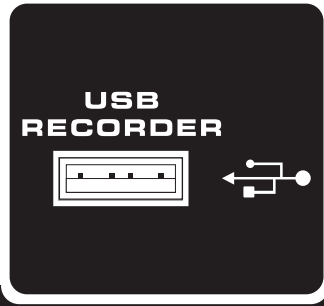
ダイアグラム

Powerpod 620 R



Powerpod 740 R



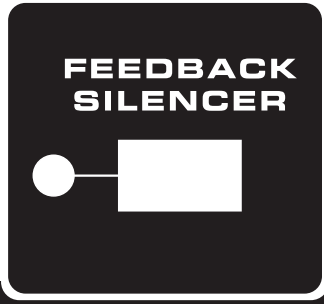


“R”

- Recording

レコーディング機能

- 1.USBドライブを接続している状態で、RECボタンを押すと録音モードになります。
 - 2.WAV（録音形式）がディスプレイに表示され、次の利用可能なトラックの番号が表示されます。たとえば、12WAV方式ファイルがUSBに入っていると、「11/REC 013」と表示されます。
 - 3.録音モードがスタンバイ・一時停止の状態になります。Play/Pauseボタンを押すと、録音が始まります。
 - 4.Play/Pauseボタンを押すと録音が一時的に停止します。もう一度Play/Pauseを押すと、一時停止したところから、再び録音が始まります。
 - 5.録音中にRECボタンを押すと、それまでの音源は1つのトラックに保存されます。
(例：トラック13を録音している最中に、RECボタンを押すと、録音した音源はトラック13に保存され、トラック14に続きます)
 - 6.録音を終了するには、Play/Pauseボタンを押してください。
 - 7.録音を終了すると、先頭のMP3トラックが選択され、再生モードになります。Backボタンを一回押しと、先ほど録音したWAVになります。
- 注意：USBロータリーのコントロールで録音レベルを設定することはできません。録音レベルの設定は、各入力チャンネルのコントロールで行ってください。
- 安価なUSBメモリや大容量のUSBメモリをご使用された場合、録音データに音飛び現象が発生してしまう場合がございます。
- なるべく容量の小さいもの、高品質・高速記録が可能なUSBメモリをご使用されることを推奨いたします。



“ F ”

Feedback Silencer

フィードバックサイレンサーについて

本機能により、メインのステレオ出力中のフィードバック周波数を効果的に除去することができます。

Powerpod FRシリーズ、Powerpod Fシリーズ両製品の各チャンネルに30フィルターを装着しております。これらのフィルターは「ダイナミック」あるいは「ロック」の2種類に分けられます。ダイナミックモードの場合、自らフィードバック周波数を探し、除去していきます。ロックモードは固定のまま、フィードバック周波数を自動追尾し、除去します。基本的な違いは、ロックモードはリセットされるまで周波数をロックしますが、ダイナミックモードの場合、30フィルターをフル活動させ、繰り返しフィードバック周波数を探し、除去したりしていきます。

操作：

- 1.FBボタンを押してください。ダイナミックモードに設定すると、LEDのインディケーターが点滅します。これで、楽曲やボーカルに影響を与えることなく、フィルターが連続的に周波数を検知、カットしていきます。
- 2.FBをもう一度押すと、ロックモードに切り替わり、ダイナミックモードで検知したフィードバック周波数にロックがかかります。本モード中、インディケーターは点灯しています。リハーサルに使用する際は、本モードをお勧めします。
- 3.FBをもう一回押すと、フィードバック機能が解除されます。

注意：本機能が作動している場合、プログラムの内容に応じて、プログラムのレベルが2dB～3dB下がりますので、その際はメインレベルのコントロールを使って、調整していきます。

モードのリセットする際はFBボタンを2秒間長押しすることで、ダイナミックモードに戻ります。

この2つの操作モード（ダイナミック・ロック）で、効率的に周波数のカットが可能となります。

PHONIC
WWW.PHONIC.COM



PHONIC 正規輸入代理店
株式会社 キョーリツコーポレーション
www.kcmusic.jp/